

長門石・小森野・京町・篠山・  
荘島・日吉校区の

# 文化財マップ



久留米市教育委員会

# 長門石・小森野・京町・篠山・荘島・日吉校区の文化財

この地区で知られている最も古い遺跡は弥生時代のもので、大石町の速水遺跡で家の跡が見つかり、櫛原町の櫛原四丁目遺跡ではお墓が発見されています。その他には、京町の京町遺跡や明善高校の校庭でも弥生土器が採集されています。古墳時代になると、京町に装飾を持った日輪寺古墳が造られますが、古墳時代や奈良・平安時代の暮らしのようすはよくわかっていません。

中世になると、今もたくさんの参詣人でにぎわう長門石町の七木地藏板碑や京町日輪寺の地藏菩薩彫像板碑が、約600年前の人々の信仰を伝えています。また、長門石町の町名のもととなった碇石は、筑後川から有明海を通り、長門（山口県）など各地を結んだ船の碇に使われていたと伝えられるもので、当時の交通の様子がうかがわれる貴重なものです。さらに、現在の久留米城の元となる小城が築かれ、戦国時代には高良山の関係者が城主だったと伝えられています。

豊臣秀吉の九州征伐が終わると、小早川（毛利）秀包が久留米城主となり、小規模ながら城下町が整えられたようです。秀包は熱心なキリシタン大名で、今の市役所がある場所を調査した両替町遺跡では、当時の教会と考えられる建物の跡や、十字架の模様が入った瓦などが見つかっています。

江戸時代の元和7年（1621）、有馬氏が久留米藩の藩主になると、久留米城を大規模に改修しています。今の久留米城は本丸と堀の一部が残るだけですが、本来は明善高校～商工会議所付近にまで広がっていた大きな城でした。

同時に城下町も整えられ、各校区を江戸時代の地図と合わせてみると、

篠山校区 … 城内と京隈侍屋敷の一部、築島町や両替町などの町屋

京町校区 … 京隈侍屋敷と御舟手方、川港があった瀬下町町屋、大石村

荘島校区 … 荘島侍屋敷と原古賀町町屋、庄島村

日吉校区 … 十間屋敷・櫛原侍屋敷と通町の町屋

にそれぞれあたります。篠山小学校に移築された旧三島家長屋門は、城内にあった武家屋敷の名残を伝える貴重な遺構です。

現在、島状となっている長門石・小森野校区は、元々は京町・篠山校区と地続きでしたが、筑後川の洪水を防ぐために、蛇行した筑後川の流れを直線にしたことで島状となったもので、長門石校区は江戸時代の初めに、小森野校区も明治20年から3回行なわれた改修工事によって島状となっています。

これらの校区は、市内でも開発が多く、日々景観が変わりつつある地区ですが、このマップを手にとり歩いてみて下さい。城下町の名残の路地など色々な発見ができるはずです。

## ■こんなにあるぞ！長門石・小森野・京町・篠山・荘島・日吉校区の文化財■

No.	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな遺跡です
1	速水遺跡	弥生時代	弥生時代の竪穴式住居跡と甕棺墓がみつかっています。
2	大石神社遺跡	弥生時代 中世～近世	江戸時代に書かれた、筑後将士軍談によると、今の大石神社の周辺に大石越前守の館があったと伝えられています。
3	瀬の下渡し	江戸時代	筑後川に橋が無かった江戸時代、久留米から佐賀方面に向かうための大切な道でした。
4	京町遺跡	弥生時代	弥生時代の穴や土器のかけらがみつかっています。
5	明善高校校庭遺跡	弥生時代	古くから弥生時代の土器や石器のかけらが拾われています。
6	久留米城外郭遺跡	江戸時代	久留米城内にあたる外郭には、久留米藩の中では最も上級の武士達の屋敷が建ち並んでいました。
7	久留米城下町遺跡	江戸時代	江戸時代、久留米城下に暮っていた町人達の町を久留米城下町遺跡と呼んでいます。城下町遺跡からは、江戸時代の建物の跡や溝・トイレ・貯蔵用の穴・ゴミ穴など様々なものが発見されています。
8	久留米城下町遺跡 両替町遺跡	安土桃山時代 ～江戸時代	現在の市役所庁舎がある場所にあった遺跡で、江戸時代には両替町と言われていました。この遺跡からは安土桃山時代の終わりに建てられたキリスト教会の跡が発見されています。
9	荘島侍屋敷遺跡	江戸時代	当時の下級武士の屋敷や上級武士の中屋敷が建ち並んでいました。
10	柳河往還	江戸時代	江戸時代の初めに田中吉政により久留米城と柳河城を結ぶための道が整備されました。現在の県道久留米柳川線がほぼそれにあたります。
11	榊原四丁目遺跡	弥生時代	弥生時代の中頃の甕棺墓が出土しています。
12	榊原侍屋敷遺跡	江戸時代	榊原周辺は、京町と同じく武士達の屋敷が建ち並ぶ侍屋敷でした。榊原侍屋敷には、やや上級の武士の屋敷が建ち並んでいたようです。
13	小森野川底遺跡	弥生時代	筑後川の底から、弥生時代の土器や石器のかけらが出土しています。
14	梅林寺川底遺跡	弥生時代	筑後川の底から、弥生時代の土器や石器のかけらが出土しています。

## ■貴重な指定文化財たち■

No	指定文化財の名前	指定区分	こんな文化財です
15	久留米城跡	県指定 史跡	江戸時代の久留米藩有馬氏の居城です。現在は、石垣が残るのみですが、当時は、7つの隅櫓や多門長屋を持ち、堀をめぐらした大きなお城でした。
16	旧三島家長屋門	市指定 有形文化財	久留米城の外郭にあった梶原家の門で、近年までは三島家が所有していました。現在は、篠山小学校に移築復元していますが、江戸時代の武家屋敷の雰囲気をよくあらわしています。
17	城南町日吉神社の石造青面金剛像	県指定 有形民俗 文化財	江戸時代の元文5年(1740年)に作られたもので、長方形の石に青面金剛像と二童子像が彫刻されています。
18	梅林寺の絹本著色釈迦三尊像	国指定重要 文化財	中国・宋時代の影響を受けて、鎌倉時代に描かれた仏画です。
19	木像薬師如来坐像	市指定 有形文化財	正和4年(1315年)以前に阿彌陀如来像として作られていたことが分かっています。高さ58cm
20	木像如意輪観音坐像	市指定 有形文化財	建徳2年(1371年)に作られた如意輪観音像です。高さ61.9cm
21	木像如来形坐像	市指定 有形文化財	天文21年(1552年)に永平寺の起雲によって作られた仏像です。高さ25.8cm
22	絹本著色楊柳観音図	市指定 有形文化財	応永34年(1427年)に朝鮮半島で製作されました。
23	法泉寺の石造宝篋印塔	県指定 有形文化財	江戸時代の文化12年(1815年)に天台僧豪潮律師が観音講衆とともに建立した宝篋印塔です。
24	日輪寺古墳	国指定史跡	5世紀後半から6世紀に作られた全長約50mの前方後円墳です。棺を納める石室は横穴式石室で、◎や△の文様を掘り込んだ石障を持つことで有名です。
25	日輪寺の地蔵菩薩彫像板碑	市指定 有形文化財	日輪寺古墳の上に建つ地蔵板碑で、室町時代の応永22年(1415年)に建立されたものと思われます。
26	長門石の庚申板碑	市指定 有形文化財	江戸時代の寛永11年(1634年)に建立された庚申板碑で、県下最古の例となります。
27	長門石の七木地蔵板碑	市指定 有形文化財	室町時代の応永3年(1396年)に建立された地蔵板碑です。高さ183cm、幅63cm
28	長門石の碇石	市指定 有形文化財	花崗岩で作られた船の碇石で、一説には長門の国(山口県)から来た船の碇石であったという伝承もあります。長門石という地名の由来は、その伝承にあると言われてしています。
29	無量寺の木像阿彌陀如来立像	国指定 重要文化財	鎌倉時代の作と考えられる阿彌陀如来で作者は不明です。説法印といわれる形をとる全国的にもめずらしい形をとります。高さ122.5cm
30	久留米おきあげ	市指定選定 保存技術	おきあげは、「起き揚げ」と書き、江戸時代から続く押絵細工のことです。いまもおその技術は伝承されています。

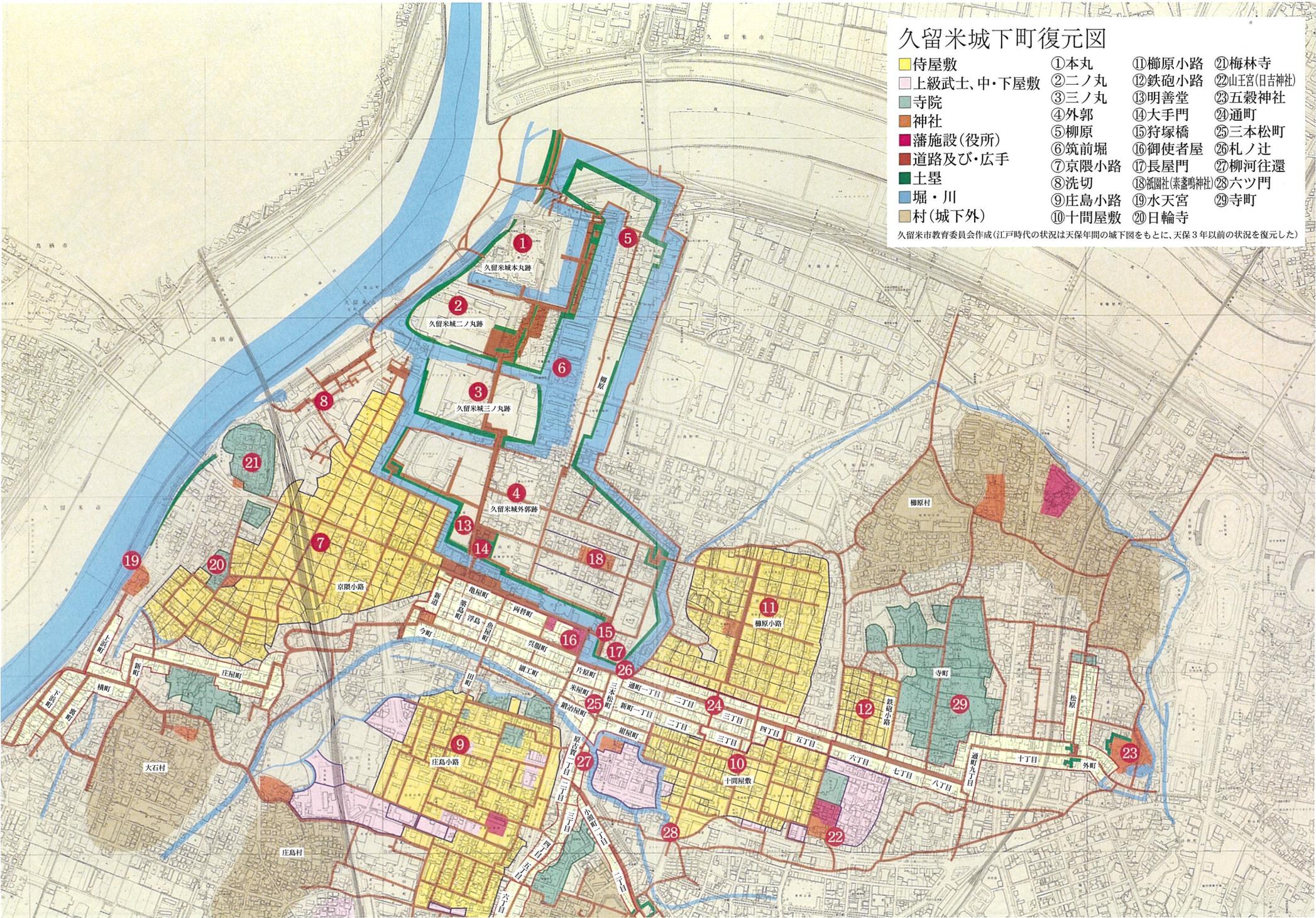
## ■長門石・小森野・京町・篠山・荘島・日吉校区の歴史年表■

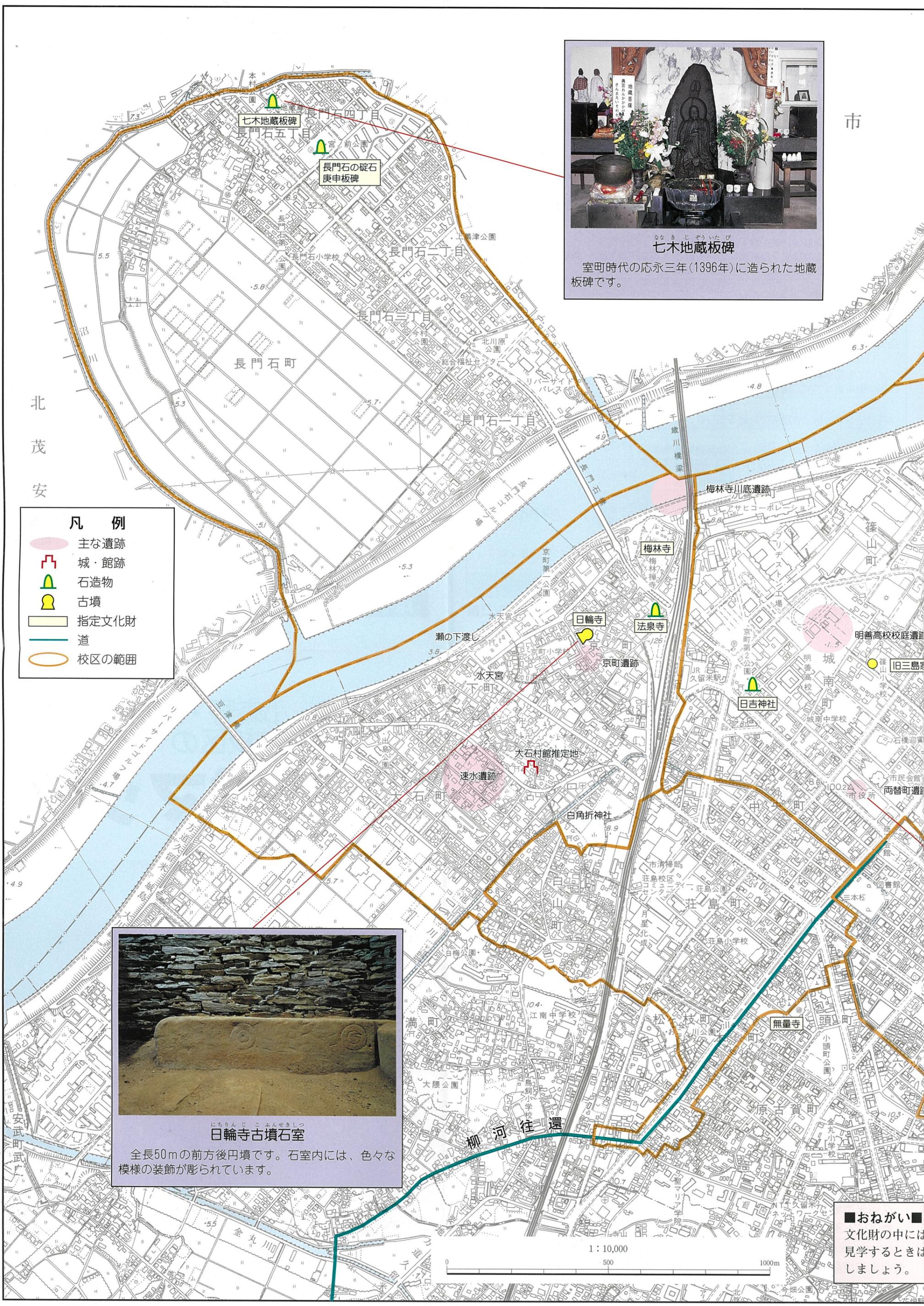
長門石・小森野・京町・篠山・荘島・日吉校区のできごと	時代	西暦	日本のできごと
<p>●各地に集落やお墓がつくられる (明善高校校庭遺跡) (櫛原四丁目遺跡) (速水遺跡) (小森野川底遺跡)</p>	旧石器	20,000	狩り・漁労・採集などで生活する
		縄文	10,000
	弥生		400 紀元前
		古墳	紀元後
	飛鳥		300
		奈良	500
	平安		600
		鎌倉	700
	室町		800
		安土桃山	1,200
江戸	1,400		応仁の乱 (1467)
		1,500	
		1,600	豊臣秀吉の天下統一 江戸幕府の成立 (1603)
		1,900	明治維新 (1868)
<p>●このころ久留米城築城される？</p> <p>●両替町に教会が建てられる</p> <p>●筑後川改修、長門石島ができる。</p> <p>●城下町がつくられる (1624~44)</p> <p>●白石火事で久留米城下が大火災にあう (1696)</p> <p>●田代火事で城下町の大半が炎上、城下町の整理がすすむ。(1726)</p> <p>●筑後川改修、小森野島ができる。 (1887~1921)</p>			

# 久留米城下町復元図

- |              |        |              |             |
|--------------|--------|--------------|-------------|
| ■ 侍屋敷        | ① 本丸   | ⑪ 榑原小路       | ⑳ 梅林寺       |
| ■ 上級武士、中・下屋敷 | ② 二ノ丸  | ⑫ 鉄砲小路       | ㉑ 山王宮(旧吉神社) |
| ■ 寺院         | ③ 三ノ丸  | ⑬ 明善堂        | ㉒ 五穀神社      |
| ■ 神社         | ④ 外郭   | ⑭ 大手門        | ㉓ 通町        |
| ■ 藩施設(役所)    | ⑤ 柳原   | ⑮ 狩塚橋        | ㉔ 三本松町      |
| ■ 道路及び・広手    | ⑥ 筑前堀  | ⑯ 御使者屋       | ㉕ 札ノ辻       |
| ■ 土塁         | ⑦ 京隈小路 | ⑰ 長屋門        | ㉖ 柳河往還      |
| ■ 堀・川        | ⑧ 洗切   | ⑱ 紙園社(素盞鳴神社) | ㉗ 六ツ門       |
| ■ 村(城外)      | ⑨ 庄島小路 | ㉚ 水天宮        | ㉘ 寺町        |
|              | ⑩ 十間屋敷 | ㉛ 日輪寺        |             |

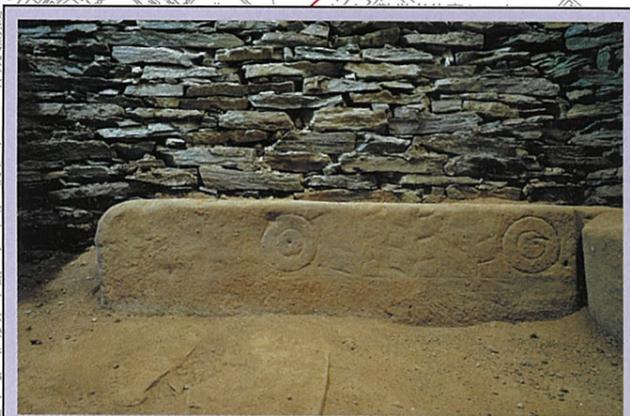
久留米市教育委員会作成(江戸時代の状況は天保年間の城下図をもとに、天保3年以前の状況を復元した)





七木地蔵板碑  
室町時代の応永三年(1396年)に造られた地蔵板碑です。

- 凡例**
- 主な遺跡
  - 城・館跡
  - ▲ 石造物
  - 古墳
  - 指定文化財
  - 道
  - 校区の範囲



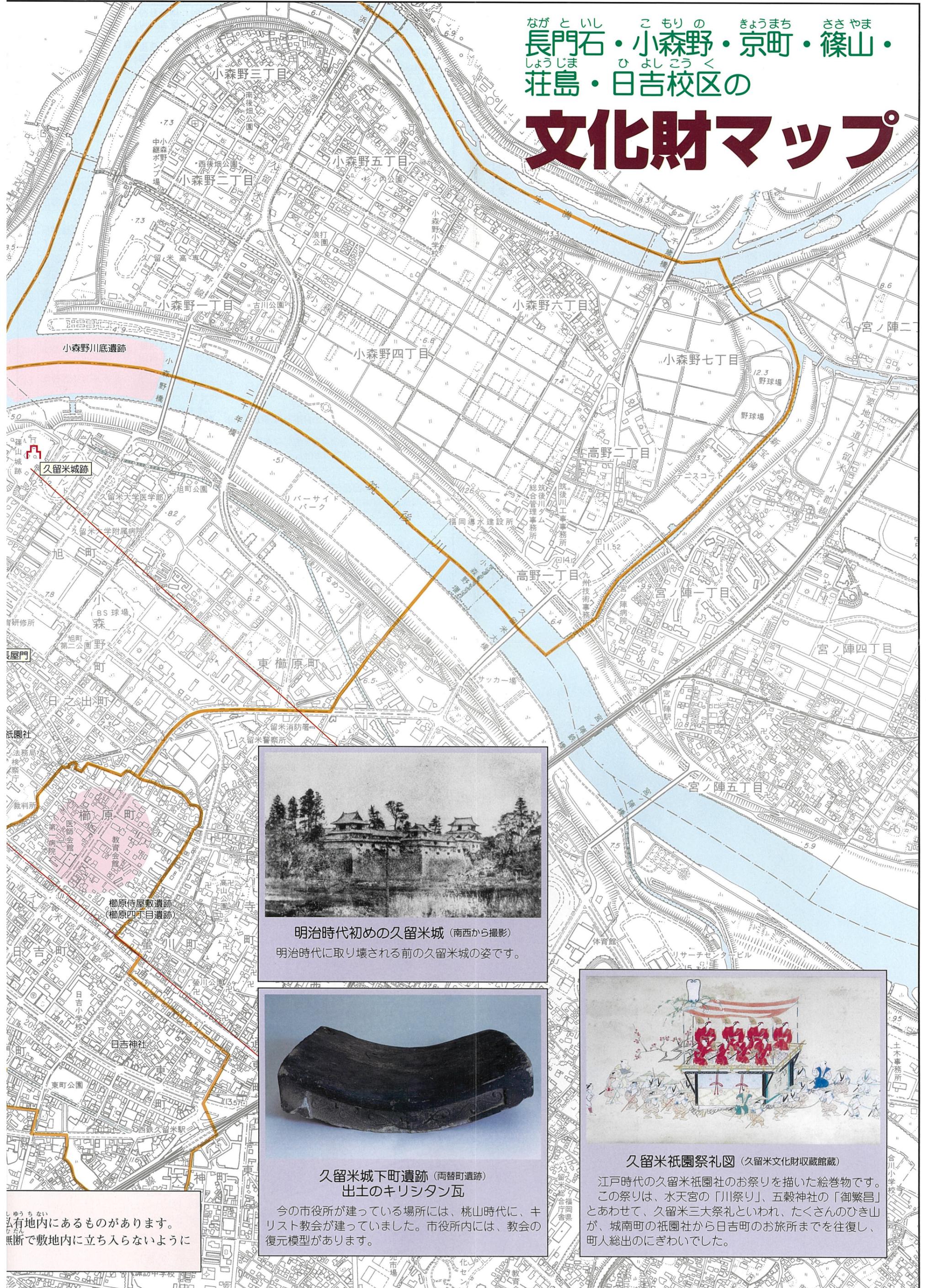
日輪寺古墳石室  
全長50mの前方後円墳です。石室内には、色々な模様の装飾が彫られています。

■おねがい■  
文化財の中には  
見学するときは  
しましょう。

1 : 10,000  
0 500 1000m

ながといし こもりの きょうまち ささやま  
 長門石・小森野・京町・篠山・  
 しょうじま ひよしこうく  
 荘島・日吉校区の

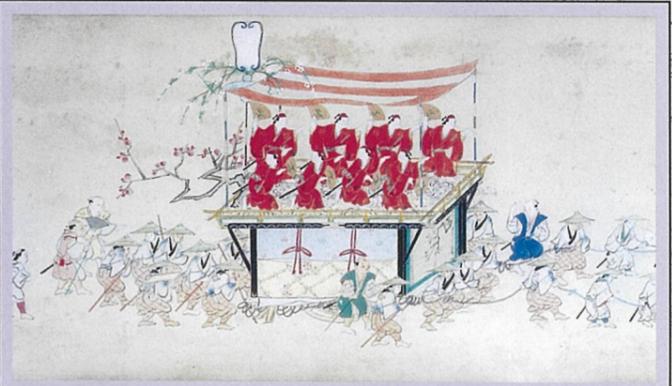
# 文化財マップ



**明治時代初めの久留米城** (南西から撮影)  
 明治時代に取り壊される前の久留米城の姿です。



**久留米城下町遺跡 (両替町遺跡)**  
**出土のキリシタン瓦**  
 今の市役所が建っている場所には、桃山時代に、キリスト教会が建っていました。市役所内には、教会の復元模型があります。



**久留米祇園祭礼図** (久留米文化財収蔵館蔵)  
 江戸時代の久留米祇園社のお祭りを描いた絵巻物です。この祭りは、水天宮の「川祭り」、五穀神社の「御繁昌」とあわせて、久留米三大祭礼といわれ、たくさんのひき山が、城南町の祇園社から日吉町のお旅所までを往復し、町人総出のにぎわいでした。

しゅうちない  
 私有地内にあるものがあります。  
 無断で敷地内に立ち入らないように

## 久留米市埋蔵文化財センターのご案内



体験学習「まが玉づくり」のようす

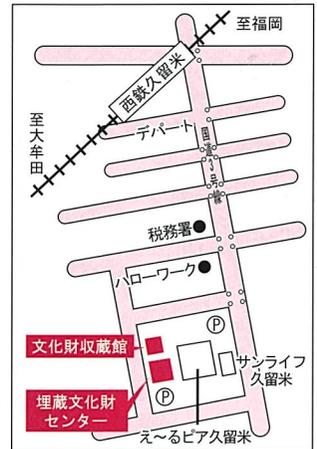
久留米市埋蔵文化財センターでは、市内の遺跡から出土した遺物（土器・石器・金属器）や凶面・写真などの記録を収蔵・整理・研究するために、平成6年4月にオープンしました。センターでは、資料の貸し出しや文化財に関する相談に応じています。また、『ふるさとの歴史とふれあっ展』、春には『文化財フェスタ』、秋には『考古資料展』などのいろいろな企画展を開催し、あわせて体験学習や現地説明会・スライド映写会など盛りだくさんの企画を行っています。

歴史に興味がある方もない方もお気軽にお越しください。お待ちしております。

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：土・日・祝祭日・年末年始

入館料：無料



### 《文化財に対するお問い合わせ先》

久留米市市民文化部 文化財保護課

久留米市城南町15-3（市役所12階）

TEL0942-30-9225 Fax0942-30-9714

E-mail: bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp

久留米市埋蔵文化センター

久留米市諏訪野町1830-6（えーるピア敷地内）

☎0942-34-4995 FAX0942-34-5045

長門石・小森野・京町・篠山・荘島・  
日吉校区の文化財マップ

平成16年3月31日

発行：久留米市教育委員会

編集：教育文化部文化財保護課

〈表紙〉篠山小学校に移築された  
旧三島家長屋門